

# 第 1 章

---

## 基本的事項



## 第1節 計画策定の趣旨

徳島県は、温暖な気候と緑あふれる豊かな自然を有し、県民が快適な生活を営むために必要な自然的条件に恵まれています。

加えて、医療技術の進歩、保健衛生活動の積極的な推進、さらには生活水準の向上等により、県民の健康水準は着実に向上しています。

しかし、一方で、急激な少子・高齢化の進行、生活習慣による慢性疾患の増加などの疾病構造の変化等により、県民の健康への関心も一層の高まりをみせ、その内容もより多様化・高度化してきています。

徳島県では、医療法に基づき、医療資源の適正な配置を図り、健康増進から疾病の予防、診断、治療及びリハビリテーションに至る総合的な保健医療供給体制の確立を目指して、昭和62年11月に「徳島県地域医療計画」を策定し、その後、ほぼ5年ごとに見直しを行ってきました。

平成14年10月に公示した「徳島県保健医療計画（第4次改定）」の策定から5年が経過し、保健・医療・福祉を取り巻く環境は、医療保険制度・介護保険制度の大規模な改革、インターネットの普及による情報社会の進展、医師不足問題、さらには医療計画の根拠法である医療法の抜本的な改正など、大きな変化に直面している状況にあります。

このような状況の中、国が定めた「医療提供体制の確保に関する基本方針」に即して、本県における今後の保健医療提供体制のあり方を検討し、県民の多様化したニーズに的確に対応しつつ、安全で安心の保健医療を提供できる体制の構築を積極的に推進していくため、「徳島県保健医療計画」を見直すこととしました。

## 第2節 計画の基本理念

「県民がいつでも、どこでも、等しく高度な保健医療サービスが受けられる徳島づくり」

時代が移り、生活様式や価値観が変化する中であっても、いつの世も、だれもが願って止まないものは健康です。

本格的な高齢社会が到来している現状に視点をおき、引き続き「県民がいつでも、どこでも、等しく高度な保健医療サービスが受けられる徳島づくり」を当計画の基本理念とします。

この理念を踏まえ、健康度をさらに高めるための施策を積極的に展開し、併せて、地域の保健医療資源の効率的な活用と適正な配置を図るとともに、保健医療機能の分化・連携を推進し、切れ目のない保健医療サービスの提供体制を構築していく必要があります。

そして、県民一人ひとりの健康に対する関心をさらに高め、「自らの健康は自らが守る」という自助努力の考え方を基本としつつ、県民の理解と協力の下、県、市町村をはじめ保健、医療、福祉に関する機関、団体等が一体となって、目標達成に向けて努力を積み重ねていくことが重要です。

## 第3節 計画の性格

この計画は、次に掲げる性格を有するものとします。

- (1) 医療法第30条の4第1項の規定に基づく医療提供体制を確保するための計画（医療計画）
- (2) 徳島県における保健医療に関する基本的な指針
- (3) オンリーワン徳島行動計画(第二幕)の保健医療に関する分野別計画
- (4) 県民その他関係機関・団体にとっては、自主的かつ積極的な取組が展開されることを期待するものであり、市町村にとっては、計画策定や施策の指針となるもの

#### 第4節 計画の期間

この計画は、平成20年度（平成20年4月）を初年度とし、少なくとも5年以内に分析、評価及び検討を行い、見直しを行うものとします。